

## ●三保谷地区 まちづくり懇談会記録

平成24年6月30日(土)午後7時～9時 (三保谷公民館)

### (1) 新庁舎建設について

	質問事項	答弁要旨	答弁者
①	新庁舎を建設したことによる財政への負担は大丈夫なのか。また、町税などに大きな影響はないのか。	現在、新庁舎建設検討委員会で検討を行っており、想定が難しいところですが、今のところ、町税などに大きな影響はないものと考えております。	町長
②	新庁舎建設は、いつごろまでに予定されているのか。	建設場所や規模、検討委員会の進捗状況によっては、建設時期が変わるので現段階では、予定が難しい状況ですが、目安として平成26年に合併60周年を迎えますので、その時に着手できればと考えております。	町長
③	平成17年の調査で耐震性能が不足しているとのことだが、震災のとき、庁舎への影響はどのくらいあったのか。	震災の影響ですが、外壁に亀裂・破損があり、内部の梁にも亀裂が入っており、業者に補修してもらっています。また、地震の影響ではないかもしれないが、保健センターの外壁が一部剥がれ落ちていた状況です。 また、震災後、庁舎内の雨漏りがひどく、窓枠等から浸み出てくるため、重要な電算機器への影響も危惧される状況です。	政策推進課長
④	新庁舎の位置について、現在の位置がよいと思います。ほかの場所では用地買収費用なども発生すると思うが、どのようにお考えか。	新しい場所では、用地の費用等もかかりますので、費用対効果も検証し、皆様からのさまざまな意見を検討委員会でよく検討し、決定したいと考えております。	町長
⑤	新庁舎は何階建てを想定しているのか。	現在、庁舎建設検討委員会で検討中ですが、国土交通省が公表している「荒川水系荒川浸水想定区域」によると約550mmの降雨により、はん濫した場合に想定される状況では2m～5m程度浸水することになります。それらを考慮すると建物の構造にもよりますが、浸水に耐えうる3階から5階建てが考えられますが、検討委員会の中で検討していきたいと考えています。	町長

### (2) 自主防災組織の育成支援について

⑥	<p>自主防災組織について、自助、共助ということですが、地域住民による任意の防災組織では、ほとんど単年事業となってしまう、継続した事業を行える土台として難しい状況にあります。</p> <p>そうした中で、越水した場合、三保谷では高台がなく逃げる場所が圏央道しかないことや、避難所運営等を考えると難しいと感じています。そのため、公助も入れていただき、防災計画に基づいた情報の伝達が迅速に行えるしっかりした組織作り等についてレクチャーしていただきたい。</p>	<p>自助・共助・公助について、公助はもちろんのことであり、行政や消防だけでは、災害に対するすべてを補う事ができないため、自助・共助により隣近所等で声をかけていただくなど、ご協力をお願いするものです。</p> <p>また、自主防災組織については、災害情報の収集や住民の安否確認を迅速に行えるような体制・組織づくりを町と地域の皆さんと一緒に検討してまいりたいと考えています。</p> <p>また、水害に備え、町では現在、地域防災計画の見直しを行っております。その中で、浸水被害想定調査を行っており、その結果を踏まえ、川島インターや周辺企業へ避難場所として対応していただけるようお願いしています。今後、町として、具体的な避難場所をお示しできればと考えております。</p>	町長 総務課長
---	--	---	------------

⑦	<p>区長に対して避難誘導や避難所運営等を任された場合、研修等を受けていないと対応できないと思います。町で、研修等は行っていただけるのか。</p>	<p>区長さん方にどこまで行っていただくか町としてある程度マニュアル的なものを作る必要があると考えています。コミュニティ推進協議会では、区長さんなどを対象とした自主防に関する研修を秋頃に予定しておりますので、ご出席いただければと思います。</p> <p>なお、自主防の組織化については、ある一定の線引きが必要になりますので、町と地域と一緒に検討してまいりたいと考えております。</p>	町長 総務課長
---	---	--	------------

**(3) 各種保健事業について**

⑧	<p>保健委員さんに特定健診やがん検診などのPRをしていただく方が健診率向上になると思いますが、どのようにお考えか。</p>	<p>5月に保健委員に集まっていただき、各地域ごとに特定健診の受診率向上について検討していただきました。三保谷地区については、保健委員さんが受診勧誘していただけることになっています。</p>	町民生活課長
---	--	---	--------

**(4) その他**

⑨	<p>広域交通網・交通弱者対策と関係して、東武バスの川越・桶川線の停留所について、地主の意向で、停留所が移動したことにより、困っていると高齢者や地元の人から聞いているが、いい解決方法をお伺いしたい。</p>	<p>公共交通対策については、埼玉大学と共同でアンケート調査を行い、分析したなかで、検討していきます。なお、バス停の移動関係については、東武バスウェストが地先の方や交通状況を判断した中で行っている状況です。町としては、今後交通網や交通弱者対策としまして、東武バスウェストと意見交換等を行いたいと考えています。</p>	政策推進課長
---	---	--	--------